

平成30年度 第2回 山科区民まちづくり会議

日時：平成30年8月27日（月）

午前10時～

場所：山科区役所 大会議室

次 第

1 開 会

2 議 論

「第2期山科区基本計画」の推進に向けた具体的な施策・事業等の検討

3 閉 会

<配付資料>

施策進ちょく評価検証シート【平成29年度版】

※各グループ分のみ

平成30年度 第2回山科区民まちづくり会議委員 グループ名簿

グループⅠ [環境]

【五十音順・敬称略】

氏名	所属等	代理
藤中 淳史	山科美化推進企業協議会	
干場 美代子	山科少年補導委員会	
三田村 昌人	一般社団法人山科経済同友会	
奈須 健一	山科まち美化事務所	
松宮 知	上下水道局みなみ下水道管路管理センター山科支所	
山下 貴史	山科区役所地域力推進室 総務・防災課長	
中林 淳	京都市市民協働ファシリテーター	

グループⅡ [魅力・観光]

氏名	所属等	代理
岡本 洋	山科の歴史を知る会	
小山 好弘	NPO法人おこしやす“やましな”協議会	
畚野 美輝	京都橘大学	
橋間 望	山科区役所地域力推進室企画係長	
伊藤 圭之	京都市市民協働ファシリテーター	

グループⅢ [交通・都市基盤]

氏名	所属等	代理
内海 敏	山科区自治連合会連絡協議会会長会	
北口 昭彦	山科区交通安全対策協議会	
木下 文男	山科区身体障害者団体連合会	
村田 哲子	清水焼団地協同組合	
森田 武士	山科消防団	
朝山 勝人	東部土木事務所	
中村 國博	山科警察署	本田 正 交通課長
大西 利加子	山科区役所副区長(地域力推進室長・区民部長)	
谷 亮治	まちづくりアドバイザー	

グループⅣ-①[子育て・青少年]

氏名	所属等	代理
大河内 清子	一般社団法人京都手をつなぐ育成会山科支部	
嶋本 弘文	山科区保育園保育所協議会	
前坂 己美子	山科区民生児童委員会	
村井 琢哉	NPO法人山科醍醐こどものひろば	
豊田 寿美夫	京都市小学校長会山科支部	
宮川 知子	山科青少年活動センター	
小嶋 明	山科区役所副区長(保健福祉センター子どもはぐくみ室長)	
田尾 純子	まちづくりアドバイザー	

グループⅣ-②[障害・高齢・健康・人権]

氏名	所属等	代理
住友 正歳	山科区自治連合会連絡協議会会長会 山科区健康長寿推進協議会	
竹谷 良一	山科区体育振興会連合会	
吉川 彰	社会福祉法人京都市山科区社会福祉協議会	
中田 泰司	山科区役所副区長(保健福祉センター健康福祉部長)	
松井 忠治	京都市市民協働ファシリテーター	

グループⅤ[地域とのつながり]

氏名	所属等	代理
伊藤 幸典	京都市中学校PTA連絡協議会山科支部	
岩見 眞成	山科防犯協会	
土田 絹枝	山科区老人クラブ連合会	
松井 陽一	山科地域防犯推進委員協議会	
塩見 晃之	京都市立中学校長会山科・醍醐支部	
松崎 耕三	山科消防署	
人見 早知子	地域力推進室 まちづくり推進課長	
佐藤 友一	まちづくりアドバイザー	

◎ファシリテーター名簿(6名)

<まちづくりアドバイザー>

氏名	プロフィール
佐藤 友一	京都大学大学院修了。住民参加型まちづくりの研究と実践を行い、京都市景観・まちづくりセンター勤務等を経て現職。地域コミュニティの再生が専門
田尾 純子	関西学院大学社会学部卒業後、京都市内の青少年活動センターに11年間勤務 ワークショップやグループワーク、カウンセリングを通じた青少年育成が専門
谷 亮治	立命館大学大学院社会学研究科修了、博士(社会学)。住民参加のまちづくりを研究する傍ら、まちづくりNPO法人に勤務。参与観察手法に基づく支援が専門

<京都市市民協働ファシリテーター>

氏名	所属
松井 忠治	北区役所 地域力推進室 企画係長
伊藤 圭之	行財政局 人事部 厚生課 主任
中林 淳	産業観光局 農林振興室 北部農業振興センター

第2期山科区基本計画
施策進ちよく評価 検証シート【平成29年度版】

基本施策 ①	環境を守り継ぐ	自然を守り、地球環境に配慮したライフスタイルを、ともにつくっていきます。
--------	---------	--------------------------------------

1 客観指標

番号	20の基本方針	50の取組	指標人【単位】	年度推移							備考	
				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度		
1	うるおい・自然を大切に する	①まちの水・緑の充実	花いっぱいプロジェクトでのプランター設置数【個】	—	—	—	—	—	1,800	1,200	対象:市街化区域内の緑(山科区)前回調査(H17)時の緑被率:26%	
			山科区フラワーロード推進事業花苗植数【個】	5,030	5,220	5,140	5,190	5,266	6,133	4,592		
			緑被率【%】	—	—	—	—	25	—	—		
		②公園・緑地等の整備と適切な管理	公園愛護協力会による公園の清掃回数【回】	—	—	2,164	2,243	1,975	2,206	1,651		H23, H24はデータなし 清掃回数については、4月から12月の実績である。 (公園愛護協力会内規にて、毎年4月から12月までの9箇月間の除草・清掃活動を報償金交付の必要条件とし、1月から3月までの活動を、努力規定としているため。)
3	ごみを減らし、まちを きれいにする	③自然環境の保全・回復	山科川におけるBOD(生物化学的酸素要求量)の75%水質値【mg/L】	0.7	0.6	0.6	<0.5	<0.5	<0.5	0.5	BOD(生物化学的酸素要求量):河川の有機汚濁の代表的な指標(数値が小さいほど、汚濁が少ない)、0.5が数値の下限	
			山科川における京都市環境保全基準の達成状況	○	○	○	○	○	○	○	市保全基準達成状況は、水域内の全測定地点で75%水質値を満たしているかどうかで判断(満たしていれば○、満たしていなければ×)	
2	地球環境問題対策のため行動する	①低炭素社会づくりによる地球温暖化対策の推進	自動車保有台数(自家用乗用車及び軽自動車のみ)【台】	50,533	50,533	50,767	50,646	50,545	50,493	—	平成29年度分の公表は平成31年4月	
			京都市住宅用太陽光発電システム助成件数【件】	117	179	142	130	85	55	56		
3	ごみを減らし、まちを きれいにする	②廃棄物対策の充実と環境美化	①ごみの発生抑制と資源循環型社会の構築	ごみの受入量【t】	(488,823)	(481,211)	(472,183)	(461,415)	(439,606)	(417,273)	(413,066)	全市の受入量(山科区のみデータなし)
			②廃棄物対策の充実と環境美化	使用済てんぷら油の回収量【L】	21,353	21,432	22,190	19,435	20,107	21,958	21,596	全市の回収量(山科区のみデータなし)
				使用済乾電池の回収量【t】	(74)	(90)	(85)	(89)	(95)	(99)	(100)	
				2万人まち美化作戦の参加人数【人】	15,856	17,300	16,568	16,554	16,296	15,170	15,247	
山科エコまちステーション及び山科まち美化事務所での清掃用ゴミ袋の配布枚数【枚】	18,810	25,580	18,900	18,981	20,860	29,499	30,304					
4	環境について学ぶ	①環境学習の充実	ごみ減量エコバスツアーの参加者数【人】	102	125	330	315	329	259	242	山科区民の参加者数	
			小学校での環境学習(子どもエコライフチャレンジ)の時間数【時間】	39	39	39	39	39	39	39	エコライフチャレンジ:各家庭で、子ども達がマイバッグの持参などのエコライフにチャレンジしその結果を子ども版環境家計簿「子どもエコライフチャレンジ」に記入する授業	

2 区民の実感(区民アンケート)

番号	設問	そう思う	どちらか という そう思う	どちらとも いえない	どちらか という そう思わない	そう思わない	無回答	計
1	山科区は、街路樹や公園・緑地、水辺空間など自然環境が豊かである。	21.0%	37.0%	20.4%	12.4%	7.2%	2.1%	100%
2	山科区では、ごみの減量、分別収集など、環境に優しい取組が進んでいる。	20.1%	39.2%	26.2%	7.7%	4.8%	2.0%	100%
3	山科区は、散乱ごみが少なく、美しいまちである。	11.3%	33.6%	30.6%	14.2%	9.4%	0.9%	100%
4	山科区では、学校や地域において、環境について学ぶ機会が充実している。	5.6%	18.3%	44.4%	12.9%	7.9%	10.9%	100%

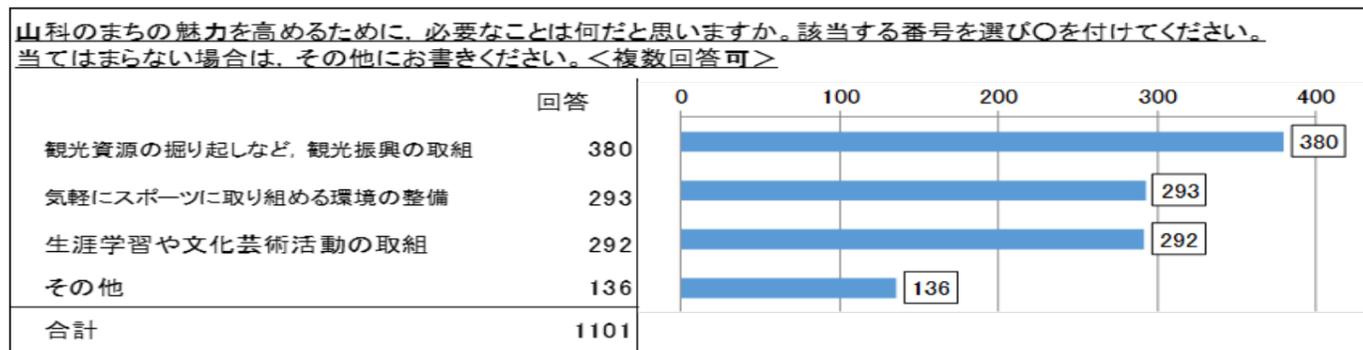
基本施策 ②-1	まちの魅力・観光を磨く (観光・伝統産業)	山科のまちの魅力資源を磨き高めて、区内外への総合的な発信を図っていきます。
----------	--------------------------	---------------------------------------

1 客観指標

番号	20の基本方針	50の取組	指標人【単位】	年度推移						備考	
				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		29年度
1	山科の魅力・観光を育てる	①山科の魅力の発信	おこしやすやまな協議会HPのアクセス数【ページビュー】	—	20,747	25,791	28,240	30,094	29,223	32,087	H23はデータなし 数値は各年1月～12月の数値(H23、H24はデータなし(同調査における訪問地の選択肢にな 平成30年3月から、「地下鉄・バス一日券」に統合 数値は2年ごとに把握(経済センサス) 京都府旅館ホテル衛生同業組合への登録数 京都府旅館ホテル衛生同業組合への登録数 H29年度分は平成31年2月頃確定予定 H29年度分は平成31年2月頃確定予定 H29年度分は平成31年2月頃確定予定 H29年度分は平成31年2月頃確定予定 H29年度分は平成31年2月頃確定予定 データなし
			おこしやすやまなマップ(簡易マップ)の配布枚数【枚】	14,000	18,720	12,090	20,700	5,550	10,300	10,000	
			京都市観光調査で、京都市に訪れた観光客のうち、「山科周辺」を訪問したと回答した観光客の割合【%】	—	—	7.3	3.4	2.7	2.2	—	
		②歴史資源等の保全・活用と新たな魅力づくり	京都観光一日乗車券【山科・醍醐拡大版】販売枚数【枚】	461	489	785	796	1,256	1,371	1,271	
			歴史・文化資源等を巡るまち歩き事業の開催件数【件】	13	12	26	23	19	26	10	
			市設置の駒札観光案内板の新規設置数【個】	0	0	0	3	5	0	9	
		③観光基盤の整備	飲食店数【事業所】	—	512	—	530	—	—	—	
			旅館・ホテル施設数【施設】	1	1	1	1	1	1	1	
			旅館・ホテル定員数【人】	200	200	200	200	200	200	200	
2	伝統産業・農業を守る	①伝統産業の活性化と観光活用	清水焼の郷まつりの来場者延べ数【人】	55,000	90,000	65,000	92,000	85,000	68,000	30,000	
			②農地の保全と観光農業の展開	野菜の年間収穫量【t】	2,293	2,296	2,296	2,300	2,297	2,303	—
		野菜の年間販売数量【t】		1,620	1,621	1,621	1,624	1,624	1,622	—	
		耕地面積【ha】		166.6	164.5	162.9	160.6	158.4	156.0	—	
		勤修寺観光農園来園者数【人】		15,093	14,075	12,568	14,378	14,725	13,263	—	
		③伝統産業・農業の担い手支援	農家戸数【戸】	471	468	466	464	464	464	—	
			農業従事者の平均年齢【歳】	—	—	—	—	—	—	—	

2 区民の実感(区民アンケート)

番号	設問	そう思う	どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらか という そう思わない	そう思わない	無回答	計
5	山科区では、近年、京焼・清水焼等の伝統産業の魅力が増し、後継者や担い手の育成が進んでいる。	2.8%	14.6%	41.4%	14.8%	9.5%	16.9%	100%
6	山科区では、農産物の地産地消や食育の取組が進んでおり、農業や山科産農産物を身近に感じることができる。	9.3%	27.2%	29.1%	18.8%	9.9%	5.7%	100%
7	山科区では、いろいろなひとが、山科のまちに親しみ、まちと暮らしを十分に楽しんでいる。	8.0%	30.1%	37.1%	11.3%	8.2%	5.3%	100%
8	山科区では、歴史や行事、自然、伝統産業などの観光資源が有効に活用されている。	6.4%	27.3%	34.9%	16.8%	7.9%	6.7%	100%
9	山科区では、NPOやボランティア、大学などが連携し、観光客をもてなす体制が整えられている。	2.7%	15.2%	37.3%	19.9%	14.1%	10.8%	100%



基本施策 ②-2	まちの魅力・観光を磨く (文化・スポーツ)	山科のまちの魅力資源を磨き高めて、区内外への総合的な発信を図っていきます。
----------	--------------------------	---------------------------------------

1 客観指標

番号	20の基本方針	50の取組	指標人【単位】	年度推移						備考		
				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		29年度	
1	文化・学びを豊かにする	①わがまち山科を知る機会の充実	【再掲】歴史・文化資源等を巡るまち歩き事業の開催件数【件】	13	12	26	23	19	26	10		
		②生涯学習活動の展開	アスニー山科主催事業延べ受講者数【人】	24,376	23,922	23,975	25,056	25,131	26,102	26,347		
			山科図書館の入館者数【人】	217,464	215,730	210,736	220,591	229,911	228,793	226,290		
		③文化・芸術活動の振興	東部文化会館の利用者数【人】	57,346	68,603	58,999	59,603	53,827	59,917	59,132		
2	遊び・スポーツを楽しむ	①区民スポーツの振興	市営スポーツ施設(東野公園, 山科地域体育館, 勧修寺公園)の利用件数【件】	8,286	8,474	8,683	8,896	8,551	8,775	9,408		
			体育振興会主催のスポーツ大会(区民歩こう会などのイベントを含む)の参加者数【人】	1,442	1,410	1,220	1,238	1,370	1,927	1,334		
		②スポーツ・レクリエーションのリーダー養成	京都市スポーツ推進指導員数【人】	47	49	49	49	48	49	49	49	
			京都市スポーツ推進指導員充足率【%】	100	100	100	100	100	100	100	100	

2 区民の実感(区民アンケート)

番号	設問	そう思う	どちらか というと そう思う	どちらとも いえない	どちらか というと そう思わない	そう思わない	無回答	計
11	山科区では、気軽に文化・芸術活動を行ったり鑑賞したりすることができる。	4.8%	15.2%	33.4%	21.3%	14.0%	11.2%	100%
12	山科区は、スポーツを楽しむ機会が充実している。	2.6%	17.5%	33.1%	21.7%	13.5%	11.6%	100%
13	山科区は、幅広い世代が気軽に学ぶことができる機会や施設が充実している。	2.1%	12.3%	37.5%	21.6%	13.9%	12.7%	100%

基本施策 ③	交通・都市基盤を強化する	道路・交通環境の利便性と快適性を向上させながら、災害に強く、都市的環境と住環境の調和したまちをつくっていきます。
---------------	---------------------	--

1 客観指標

番号	20の基本方針	50の取組	指標人【単位】	年度推移							備考
				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
1	(1)道路を快適にする	①幹線道路網の交通対策	稲荷山トンネルの利用台数(1日平均)【台】	4,600	5,600	6,500	6,700	7,200	7,500	8,100	H28は4月～11月 出典:道路交通センサス調査(5年毎に実施) H27以前はデータなし 区内になし データなし 年ごとの数値
			自動車類の交通量(路線人:一般国道1号, 観測地点:山科区音羽野田町, 24時間(平日))【台】	55,067 <small>(H22の調査結果)</small>	—	—	—	—	51,362 <small>(H27の調査結果)</small>	—	
		②安全で快適な道路空間の整備	カーブミラーの設置個数【個】	—	—	—	—	—	1086	1,105	
			自転車専用道路の整備距離【m】	0	0	0	0	0	0	0	
③山科を楽しめる歩行者ネットワークの整備	歩道のバリアフリー化率【%】	—	—	—	—	—	—	—			
④交通安全対策の強化	交通事故発生件数【件】	911	673	658	576	472	383	378			
2	(2)交通環境を便利にする	①公共交通ネットワークの充実	区内地下鉄駅の乗降客数(1日平均)【人】	79,396	79,995	80,114	82,092	84,232	85,959	87,894	平成29年度分の公表は平成31年4月 平成29年度分の公表は平成31年4月 定期利用を含む。 京阪電車の乗車券等を購入すると駐車料金が割引になるサービスを利用した台数
			地下鉄御陵駅の乗降客数(1日平均)【人】	7,924	7,818	7,782	8,093	8,194	8,146	8,229	
			地下鉄山科駅の乗降客数(1日平均)【人】	40,701	41,028	40,887	41,514	42,737	43,490	43,689	
			地下鉄東野駅の乗降客数(1日平均)【人】	10,360	10,392	10,305	10,680	10,810	11,169	11,869	
			地下鉄柳辻駅の乗降客数(1日平均)【人】	14,117	14,413	14,614	15,066	15,622	16,151	16,821	
			地下鉄小野駅の乗降客数(1日平均)【人】	6,294	6,344	6,526	6,739	6,869	7,003	7,286	
			JR山科駅の乗客数(1日平均)【人】	31,672	32,129	33,227	32,798	33,912	34,219	—	
		京阪山科駅の乗降客数(1日平均)【人】	4,775	3,239	5,611	4,937	4,937	4,827	—		
②パークアンドライド/サイクルライドの促進	市営自転車駐車場(東野駅, 御陵駅南・北, 柳辻駅, 小野駅)の利用台数【台】	297,684	288,550	275,228	294,012	283,088	288,924	277,585			
	放置自転車の撤去台数【台】	1748	1719	1638	1067	642	643	634			
	浜大津駅駐車場(明日都浜大津公共駐車場, 浜大津公共駐車場)での京阪電車と連携したパークアンドライド利用台数【台】	10,951	10,974	10,156	9,997	8,838	7,732	6,983			
3	(3)都市環境を充実させる	①災害に強い都市構造の形成	床下浸水発生件数【件】	0	0	167	1	0	0	0	
			東部土木事務所における町内会等への土のう袋提供件数【件】	470	465	540	1990	353	511	394	
		②魅力ある拠点づくり	【再掲】JR山科駅の乗客数(1日平均)【人】	31,759	32,129	33,227	32,798	33,912	34,219	—	
③良好な景観の保全と創出	未設定	—	—	—	—	—	—	—			

2 区民の実感(区民アンケート)

番号	設問	そう思う	どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらか という そう思わない	そう思わない	無回答	計
14	山科区では、違法駐車や放置自転車が少なく、交通マナーがきちりと守られている。	3.8%	20.3%	20.8%	23.8%	24.4%	6.9%	100%
15	山科区は、歩道や水辺の空間など、まちの魅力を歩いて味わうことができる環境が整っている。	7.6%	27.4%	28.8%	16.4%	11.5%	8.2%	100%
16	山科区は、バス・地下鉄などの公共交通機関が整い、自家用車に頼らない移動が便利である。	19.4%	25.0%	16.5%	17.2%	15.6%	6.4%	100%
17	山科区では、大雨時にも安心できる治水対策が進んでいる。	5.4%	20.6%	35.6%	16.1%	9.4%	13.0%	100%
18	山科区は、個性的なまちなみや景観が守られ、美しいまちである。	3.6%	21.6%	36.3%	18.0%	10.8%	9.7%	100%

基本施策 ④-1	保健・福祉・子育て支援 (子育て・青少年)	だれもがバリアのない気持ちの良いまちで、自ら築くワーク・ライフ・バランスのもとに、いきいきと暮らせる地域社会をつくっていきます。
----------	--------------------------	--

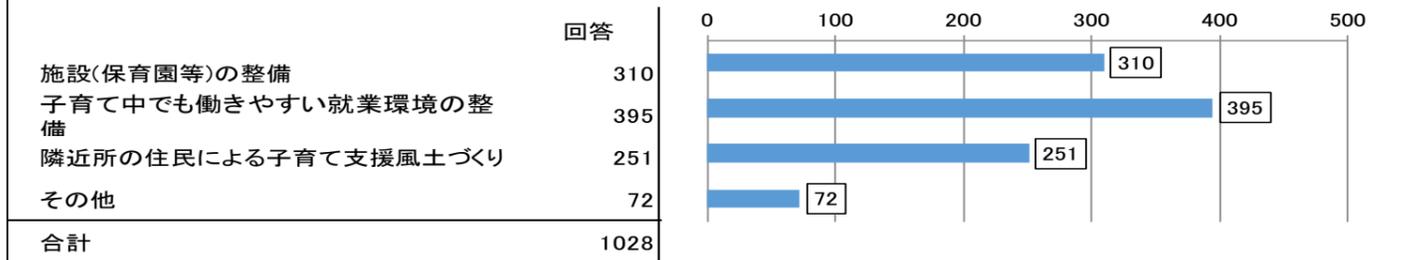
1 客観指標

番号	20の基本方針	50の取組	指標人【単位】	年度推移						備考		
				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		29年度	
1	子どもと子育てを応援する	①母子保健の充実	1歳6箇月児健康診査受診率【%】	94.3	95.3	95.6	94.7	96.8	97.3	96.4		
		②就学前教育・保育の充実	保育所待機児童数(年度当初)【人】	0	0	0	0	0	0	0	0	
			保育所(園)等施設数【施設】	20	20	20	20	25	29	31		
			保育所(園)等定員数【人】	2,540	2,560	2,580	2,585	2,812	2,853	2,893		
		③放課後児童対策の充実	放課後まなび教室登録児童数【人】	954	958	956	994	1,014	1,071	1,146	H28は11月末時点の数値	
		④地域子育て支援の充実	やましなお誕生おめでとう事業訪問件数【件】	—	—	—	—	48	181	277		
			山科子ども支援センター総合相談対応件数【件】	192	213	228	206	262	306	427		
			やましなっこひろば実施回数【回】	—	4	7	8	5	8	15		
			やましなっこひろば参加者数【人】	—	170	222	302	244	455	688		
			子育て支援活動いきいきセンター(つどいの広場)事業利用者数【人】	13,739	16,519	16,239	16,107	16,884	17,583	17,075		
			虐待通報件数【件】	155	170	135	118	138	156			
		⑤学校教育等の充実	小・中学校での土曜学習における学習・体験活動の実施校数(小中学校)【校】	19	19	19	19	19	19	19	19	
			小・中学校での京の子ども「かがやき」創造事業における体験活動の実施校数(小中学校)【校】	11	11	12	13	13	14	14		
		⑥青少年の健全育成	山科青少年活動センターにおける青少年(中学生から31歳未満)の利用者数【人】	52,812	54,917	54,294	53,440	49,681	47,561	48,542		
山科青少年活動センターにおける青少年(中学生から31歳未満)の事業参加者数【人】	14,275		14,707	11,833	9,255	10,319	12,379	10,679				
少年犯罪検挙人員【人】	(1305)		(1021)	(793)	(770)	(478)	(419)	(347)				
少年犯罪補導人員【人】	(282)		(268)	(248)	(222)	(117)	(111)	(132)	全市の人数 補導(14歳未満の犯罪)			

2 区民の実感(区民アンケート)

番号	設問	そう思う	どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらか という そう思わない	そう思わない	無回答	計
19	山科区では、子育て家庭のニーズに対応した保育サービスや相談機能が充実している。	2.3%	15.3%	38.9%	13.2%	5.3%	25.0%	100%
20	山科区では、子育てサロンなど、子育て世帯を支援する活動が活発である。	2.6%	12.9%	39.3%	13.1%	5.5%	26.7%	100%
22	山科区では、学校と家庭・地域が一体となって子どもたちを育てている。	7.1%	33.2%	32.5%	9.0%	4.3%	13.9%	100%
23	山科区では、若者が活動する場や情報が十分に提供されている。	0.8%	9.1%	40.1%	22.0%	12.4%	15.7%	100%
24	山科区では、子どもの非行防止の取組が充実している。	1.9%	10.8%	36.3%	19.1%	16.9%	15.1%	100%

山科区を、子育てしやすいまちにするために必要なことは何だと思いますか。該当する番号を選び○を付けてください。当てはまらない場合は、その他にお書きください。＜複数回答可＞



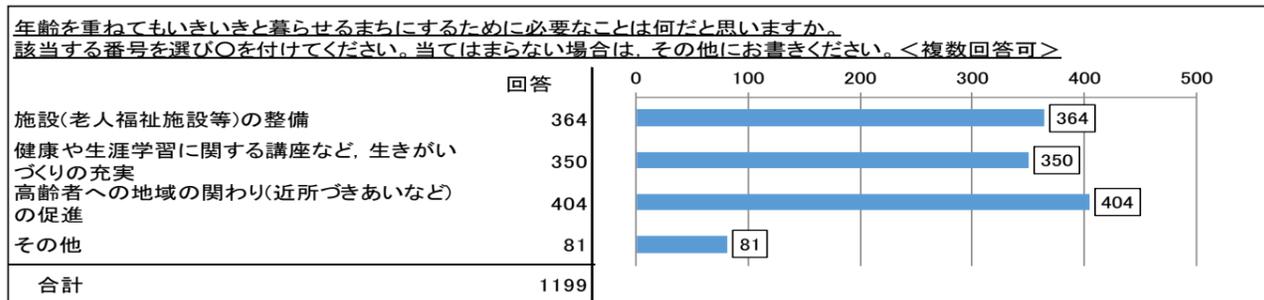
基本施策 ④-2	保健・福祉・子育て支援 (障害・高齢・健康・人権)	だれもがバリアのない気持ちの良いまちで、自ら築くワーク・ライフ・バランスのもとに、いきいきと暮らせる地域社会をつくっていきます。
----------	------------------------------	--

1 客観指標

番号	20の基本方針	50の取組	指標人【単位】	年度推移							備考
				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
1	障害のあるひとの社会生活を応援する	①障害のあるひととその家族への生活支援の充実	日中活動系障害福祉サービス利用者数【人】	542	663	695	743	747	751	—	集約中 東部圏域(山科, 醍醐, 東山)での相談件数
			障害者地域生活支援センター(東部圏域)相談件数【人】	14,951	16,152	19,705	25,782	34,497	34,420	40,828	
		②障害のあるひとの社会参加を守る環境づくりの推進	【再掲】日中活動系障害福祉サービス利用者数【人】	542	663	695	743	747	751	—	
2	高齢期の暮らしの安心と生きがいをつくる	①高齢期の活動拡大の応援	山科老人福祉センター利用者数【人】	29,099	28,307	28,033	28,808	28,343	28,022	25,222	
			山科中央老人福祉センター利用者数【人】	40,349	42,934	43,450	43,667	43,579	47,509	46,452	
			知恵シルバーセンター紹介者数【人】	—	239	321	366	423	553	526	
		②高齢期の生活と家族支援の充実	健康すこやか学級利用者数【人】	4,368	4,938	5,050	5,806	5,823	5,667	6,056	
			要支援認定者数【人】	1,637	1,853	2,057	2,214	2,267	2,294	2,097	
			認知症サポーター養成講座開催回数【回】	14	14	16	30	28	29	21	
			認知症サポーター養成講座参加者数【人】	467	522	476	987	862	1,134	769	
3	区民の健康をつくり、守る	①健(検)診の実施と健康教育・相談の充実	【再掲】1歳6箇月児健康診査受診率【%】	94.3	95.3	95.6	94.7	96.8	97.3	96.4	各年10月1日現在の数値 各年10月1日現在の数値 出典:京都市AEDマップ(H27以前はデータなし) H27のみ座席数が少ない会場で実施 H23はデータなし
			保健センターにおける健康診断診査延人員	4,102	3,959	2,939	3,792	3,745	4,439	2,746	
			キャット・ハンズと歩く健康ウォーキング参加者数【人】	—	—	96	135	140	97	137	
		②地域医療体制の充実	病院数【施設】	7	—	7	7	7	7	7	
			一般診療所数【施設】	115	111	109	108	110	105	109	
			AED設置箇所数【箇所】	—	—	—	—	—	145	150	
4	みんなにやさしいまちにする	①人権文化が息づくまちづくり	人権啓発イベント(12月人権月間)参加者数【人】	360	355	280	550	137	315	150	
		②男女共同参画社会づくりの推進	ワーク・ライフ・バランスの取組が認証基準点(130点)以上の企業の数【企業】	—	81	114	154	181	225	264	
		③ユニバーサルデザインの普及、推進	公共施設における磁気誘導ヒアリングループの設置施設数【施設】	2	2	2	2	2	3	6	
			駅のバリアフリー化状況(段差が解消されている駅数)【駅】	8	8	8	8	8	8	8	
			駅のバリアフリー化状況(車いすトイレ設置駅数)【駅】	7	7	7	7	7	7	7	

2 区民の実感(区民アンケート)

番号	設問	そう思う	どちらかというそう思う	どちらともいえない	どちらかというそう思わない	そう思わない	無回答	計
25	山科区では、障害のある人、また、その家族を支える生活支援が充実している。	4.0%	16.7%	41.7%	13.0%	7.5%	17.1%	100%
26	山科区では、障害のある人の社会参加を守る環境づくりが進んでいる。	2.7%	15.3%	42.8%	11.8%	8.8%	18.5%	100%
27	山科区では、利用しやすく、相談しやすい医療体制が充実している。	6.0%	25.4%	34.8%	15.7%	9.5%	8.7%	100%
28	山科区では、普段の生活の中で人権を大切に、尊重し合う習慣が根付いている。	2.0%	12.8%	43.5%	15.4%	11.2%	15.1%	100%
29	山科区では、高齢者や、その家族を支えるサービスを行う施設が充実している。	6.1%	26.6%	34.1%	13.1%	8.2%	11.9%	100%
30	山科区では、高齢者の地域活動への参加や、それに対する支援が充実している。	6.4%	24.7%	39.3%	10.6%	6.7%	12.3%	100%



基本施策 ⑤	地域のつながりを強める	さまざまな地域のつながりを強め、自治力・福祉力のある元気な山科区のまちづくりを進めていきます。
--------	-------------	---

1 客観指標

番号	20の基本方針	50の取組	指標人【単位】	年度推移							備考	
				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度		
1	自治の仕組みを強化する	①地域コミュニティによる自治活動の展開	自治会加入率【%】	-	70	69	68	68	68	68	68	H23はデータなし
2	市民活動を活発にする	①NPO・ボランティア活動等の展開支援	NPO法人数(事務所所在地が区内の法人)【法人】	48	47	45	48	48	51	49		
			区ボランティアセンター相談件数【件】	32	68	31	45	74	115	118		
		②大学・地域・行政の連携強化	区役所が行う区内大学との連携事案件数【件】	-	-	-	6	9	17	27		包括協定締結後、連絡協議会等により、大学と区が確認した事案件数
3	地域ぐるみで暮らしの安心を守る	①地域の福祉力の強化	社会福祉協議会の賛助会費額【円】	14,108,040	14,003,250	14,206,220	13,440,250	13,225,400	13,037,900	12,708,060		
			フリースペースの設置箇所数【箇所】	-	3	3	10	11	13	13		
			フリースペースの利用者数【人】	-	554	2,618	2,946	4,223	4,924	5,026		
		②地域防犯体制の強化と生活安全対策の充実	刑法犯認知件数【件】	2,091	1,691	1,605	1,413	1,234	869	873		年ごとの数値
			火災発生件数【件】	11	22	20	17	11	21	26		年ごとの数値
			③地域防災・危機管理体制の強化	消防団員数【人】	228	234	232	235	243	254	258	
区総合防災訓練参加者数【人】	450	320		450	500	2139	330	550		H27は京都市総合防災訓練として実施		
4	区役所をはじめ、行政機関を生活の身近にする	①協働まちづくり推進の体制強化	山科“きずな”支援事業の申請事業【件】	-	44	46	49	40	41	36		
			やましなGOGOカフェの参加者数【人】	-	-	-	199	242	140	262		
		②行政サービスの利便性向上	区役所ホームページアクセス件数【ページビュー】	179,418	286,909	303,491	294,165	306,867	286,291	304,035		平成28年度は、組織改正により再編された所属を除くアクセス件数

2 区民の実感(区民アンケート)

番号	設問	そう思う	どちらかという そう思う	どちらとも いえない	どちらか という そう思わない	そう思わない	無回答	計
32	山科区では、町内会や自治会等の地域活動が活発である。	15.00%	36.60%	27.30%	7.30%	3.30%	10.50%	100%
33	山科区では、町内会や自治会等の地域の主体的な活動と、それに対する行政の支援とがうまくかみあっている。	5.50%	23.30%	38.30%	9.90%	5.70%	17.40%	100%
34	山科区では、NPOやボランティア組織など、多様な担い手が活発に活動している。	3.20%	15.10%	38.20%	14.00%	6.50%	23.00%	100%
35	山科区では、大学の市民向けの講座や地域との交流が行われるなど、大学が身近に感じられる。	3.60%	13.30%	27.70%	21.30%	15.80%	18.30%	100%
36	山科区は、犯罪や事故が少なく、安心して暮らせるまちである。	3.40%	16.40%	25.10%	22.30%	24.00%	8.80%	100%
37	山科区では、平常時から、地域ぐるみで暮らしの安心を守る仕組みが充実している。	1.80%	16.20%	37.10%	18.30%	11.90%	14.70%	100%
38	山科区では、防災訓練や連絡網の整備など、災害に備える取組が充実している。	4.30%	25.50%	33.60%	16.80%	7.20%	12.60%	100%
39	山科区では、災害発生時に、地域ぐるみで支えあう仕組みが充実している。	2.40%	19.60%	35.10%	18.20%	9.90%	14.80%	100%
40	山科区では、市や区の施策や事業等について、企画段階から参画する機会が十分にある。	1.50%	7.00%	35.80%	18.00%	13.20%	24.40%	100%
41	山科区役所では、便利で、区民の立場に立った円滑な行政サービスが提供されている。	5.70%	21.10%	32.70%	14.80%	9.60%	16.10%	100%

2 区民の実感(平成28年度区民アンケート)

